



おしい きりんししまい
玉井神社の麒麟獅子舞【鳥取県八頭郡智頭町芦津】



かねこばら おしおく
鹿子原の虫送り踊り【島根県邑智郡邑南町矢上】



はちししまい
波知の獅子舞【岡山県玉野市八浜町波知】



ほんごうししまい
本郷獅子舞【広島県安芸高田市美土里町】



やましるほんだにかくらまい やまた おうち
山代本谷神楽舞「八岐の大蛇」【山口県岩国市本郷町本谷】

民俗芸能大会

第64回 中国・四国ブロック

徳島大会



いしき うた
石切り唄【香川県高松市牟礼町】



つ のやまかぐら
津野山神楽「山探し」【高知県高岡郡梶原町梶原】



あわにんぎょうじゆるり
阿波人形浄瑠璃【徳島県勝浦郡勝浦町大字久国】



くしきししまい
榎木獅子舞【徳島県鳴門市北灘町榎木】

令和4年
日時 10月23日(日)

10時開演(9時30分開場)
15時30分終演予定

場所 美馬市民ホール
(美馬市地域交流センター ミライズ内)
美馬市脇町大字猪尻字西分116-1

入場無料(要事前申込)

入場には整理券が必要です

※マスクの着用、手指の消毒等の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に御協力ください。
※感染症の拡大等により、内容の変更または中止することがありますので御了承ください。

定員 200名

申込〆切 令和4年 10月12日(水)

申込先 徳島県未来創生文化部文化資源活用課
〒770-8570 徳島市万代町1-1

申込方法 ハガキまたはインターネット

主催 第64回 中国・四国ブロック民俗芸能大会実行委員会
徳島県、美馬市教育委員会
協賛 全国民俗芸能保存振興市町村連盟 補助 文化庁



令和4年度
文化庁補助事業

蛭井神社の麒麟獅子舞

国指定重要無形民俗文化財
声津獅子舞保存会

毎年10月に、声津神社祭礼と蛭井神社例祭でとり行われています。獅子舞は、社殿を背にして舞い、狸々は酒に酔った千鳥足、獅子の蚊帳は緑、赤、黒の三色からなり、麒麟獅子舞の原型ともいえる厳粛・荘重・能舞的な芸態を伝承しています。

鹿子原の虫送り踊り

島根県指定無形民俗文化財
鹿子原の虫送り踊り保存会

集落の全戸が会員となって、200年以上続けられていると言われていいます。毎年7月20日の土用の入りに、笠につけた「虫垂」やまじないを書いた「短冊」などに、稲を荒らす害虫を集めて、太鼓や笛、鉦などを鳴らしながら村境へ送り出す豊作祈願の儀式です。

波知の獅子舞

玉野市指定無形民俗文化財
波知獅子舞保存会

波知集落には、250年余りの歴史を持つ古式ゆかしい獅子舞の伝統文化が現在も受け継がれています。波知の獅子舞は、江戸時代以降に伊勢大神楽の影響を受けていますが、子孫繁栄、五穀豊穡を願っており、古い信仰の形態を残していると言われていいます。

本郷獅子舞

広島県指定無形民俗文化財
本郷獅子舞保存会

毎年7月10日に近い日曜日に、悪魔払いと虫送りの祈願をあわせて、神幸神社の舞殿で舞われています。氏子は獅子かぶりをしてもらい無病息災を祈ります。この獅子舞はそれ自身で独立した芸能の形をとっている点が珍しく、また獅子の顎を激しく打ちならす芸態の独自性や、歴史的変遷が分かる点などが貴重といわれています。

山代本谷神楽舞「八岐の大蛇」

山口県指定無形民俗文化財
山代本谷神楽舞保存会

起源は享保年間(1716年～1736年)にまでさかのぼるとされる。安政年間(1853年～1862年)に山代地方に疫病が流行した際、平癒祈願として奉納され、以降、毎年10月25日の夜、地区の氏神様である河内神社例祭の前夜に奉納神楽として続いてきました。

石切り唄

高松市指定無形民俗文化財
石切り唄保存会

石切り唄は、香川県高松市牟礼町の石工職人の中で歌い継がれてきた唄です。牟礼町の五剣山(八栗山)の西側一帯は、良質な花崗岩である庵治石が採取され、近世初期には大坂城や高松城の石垣に使う石をここから切り出しました。石切り唄もその頃から始まったと言われていいます。

津野山神楽「山探し」

国指定重要無形民俗文化財
梶原町津野山神楽保存会

延喜13(913)年に藤原経高が津野山郷へ入国した際、伊豆の国より三島大明神を勧請し守護神として祀られた時から、代々の神職により舞い継がれてきました。津野山神楽は18節からなり、舞い納めるには約8時間を要します。急テンポの楽に合わせた舞でありながら、優美荘重で雅の言葉そのままです。

阿波人形浄瑠璃

国指定重要無形民俗文化財
勝浦座

江戸時代から続く徳島の伝統芸能で、物語を語る太夫と三味線奏者に合わせて動く三人遣いの人形で表現するお芝居です。勝浦座は江戸時代後期に勝浦の久国地区で「国村久太夫座」として始まり、毎年、春や秋に豊作祈願と美りに感謝して、久国の地神さんや氏神様に奉納をしています。

櫛木獅子舞

鳴門市指定無形民俗文化財
櫛木獅子舞保存会

江戸時代からの歴史があるとされる櫛木の獅子舞は、地元の八幡神社・妙見神社の祭礼で奉納されます。獅子の二人立ち・二頭立て、大太鼓二つ・小太鼓二つの基本構成で、切れのよい動きが特徴です。太鼓や手拍子・チョウコは、幼稚園から中高生までで地元の子供たちが分担して行っています。

申込み方法について

大会の観覧については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ハガキ(1枚につき2名まで)もしくはインターネットによる事前申込制(先着200名)とします。

ハガキの場合は、観覧希望者全員の「氏名」「住所」「電話番号」を記入の上、お申込みください。受付次第、随時、入場整理券を返送いたします。

【ハガキの記入例】

<input type="checkbox"/> 770-8570 徳島県未来創生文化 文化資源活用課 徳島市万代町1-1	観覧希望者1 ・氏名 ・住所 ・電話番号 観覧希望者2 ・氏名 ・住所 ・電話番号
--	--

(表)

(裏)

【文化資源活用課ホームページ URL】

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/kyoiku/bunka/7208378/>



交通のご案内



問い合わせ先

徳島県未来創生文化 文化資源活用課

〒770-8570
徳島県徳島市万代町 1-1

電話番号 088-621-3267
ファクシミリ 088-621-2886